
魔法少女リリカルなのは 神を殺した者

レシル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは 神を殺した者

【Nコード】

N5773Z

【作者名】

レシル

【あらすじ】

神は世界を消そうとした、人は神に抗った、一人の少年により世界は平穏をむかえた、しかし平穏は長く続かなかった、人は力を持つ少年を畏怖し彼を罠に落とし入れた、家族、親友、かつての仲間、それらすべてに裏切られ悲惨な最後を迎えた、だがかつて敵対していた神達に合う、彼の第二の人生が今開かれる、

プロローグ（前書き）

初書き？です修正はおそらく何度もでてくるかもしれませんが頑張りしたいと思います

プロローグ

俺は今死にかけている、それも今まで助けていた「人間」達によって。

「アヒ、あひひひひひ？*∞\$@#」

リーダーと思われる「人間」が俺が使っていた剣を手にした瞬間、精神が飲み込まれた。

そいつは、俺に近づき手にした剣を高々と持ち上げ、降り下ろした。

「あ・・・が・・・」

剣は心臓に突き刺さった。

意識が完全に無くなる前に、俺は最後の力で剣を異次元に飛ばすことに成功し力尽きた。

こうして長い時を戦い続けた一人の人間の幕が、裏切りによって終わりを迎えた。

その翌年彼が守ろうとした世界は一人の人間より滅ぶことになる

新たな道

目が覚めると冷たい床に寝ていた

「・・・・・・・・何処だ？」

体を起こし周囲を見渡す何もない、扉や窓が存在しなかった。

俺は腕を組みどうしたものかと考えていたら、後ろから魔力を感じ、腰に手を当てるが丸腰に気づき、仕方なく出来るだけの魔力を右腕にため・・・・・・・・

「無理よ、今の貴方は魔力が無いもの」

魔力の気配はかつて俺と戦ってきた神の一人だった

「つく！俺をどうするつもりだ！」

「どうもしないわ、いえ多少するけど」

奴はそう言いながら此方に近づいてきた

「貴方の力は異質すぎてね、貴方の魂を完全には消せないのよ、だから貴方の力を分離させて貴方と力を引き離す必要があるのよ」

「そんな事を信じると」

嘘を言ってる感じでは無いが警戒を強める

「本当よ、ほっとけばまた世界が滅びてしまいわ、この神界も例外なくね」

俺は奴が言った「また世界が滅びる」が気になった

「滅びるとは、俺は滅ぼした覚えが無いが」

「貴方は無いわ、なぜなら貴方の死んだ後、貴方の力である剣で滅びたのだから」

俺は言葉を失った、俺が今までやってきたことは……

「俺のせいなのか……俺がいたから」

力が抜け膝をつく

「そう言う事で、力をこの神界で体を別の世界に引き離す事になったのよ」

なにか言ってるが俺の頭には入ってきなかった

「貴方も不幸ね、神を取り込みその力で私たちから守ったのに守った相手に殺されるなんて」

「でも、今度はそうならないはずよ、貴方は力をなくした人間なんだから」

神が俺の側に近寄ってきた

「これからすぐ貴方の住む世界に送るわ、記憶を消すのが決まりだ

けど、貴方の罪を忘れさせない為にそのままにしたあげる」

「なぜ」

「なに？」

「なぜ、殺さない」

「そうね、二つ理由があるけど一つだけ教えましょう、貴方が幸せになって欲しいだけかしら」

声を上げようとしたが意識が遠のいていく

なにかいつていたが・・・も・・・う・・・い

神side

アルガスが入ってきた

「いったか」

「ええ、これで私のやることは無くなったは」

「そうだな、封印は完璧だ、もうあの力は誰も使うことができないから神界も平穏を取り戻したな」

「そうね、後は貴方がリンの身代わりを殺せばすべて収まる訳ね」

今までそこにいた彼の場所に視線を向ける

「しかしわからねえ」

「何が？」

アルガスは頭をかきながら床に座っていた

「どうしてお前は、奴をきにする」

「・・・・・・」

彼のまっすぐの目を向けて私に聞いてきた

（私との会話を盗み聞きしてるでしょうが、まあいいでしょう）

「彼が、私の××××××してるから生きて欲しいのよ、私のわがままで」

「ふん、それでもう一つは？」

「盗み聞きしてる人には教えることはありません」

「ばれていたか」

彼の苦笑を見て呆れるが嫌な感じでは無かった

(ここまででしたんですから幸せになってください)

神sideout

主人公設定

リン・アルガルド

種族 人間 性別男 年齢25歳（転生前）現在0歳

今までの彼の人生と性格）

前世で世界最強の力で世界を守っていたが、戦いが終わるやいなや今まで守ってきた者達が、手のひらを返し俺を殺しに来たがかつての仲間に助けられる、しかし最後はその仲間に裏切られ命を落とす、その経験から転生後も人を避ける傾向が強くなるが困っている奴には手を差し出す。

能力）

魔導師ランクB

体術と剣技を使う、剣技は右に出る者がいない強者だが剣を捨てる、基本は体術で戦う

かつては魔力は神クラスの魔力を持っていたが分離させられかなり弱体化している、前世の経験と技術で強者の部類には入っている、初め周りにはAAAクラスと思われる

肉体）

とある事情でリンの体は女の体をベースになっており彼は魔力で男に切り替えていたが転生時に完全に男になっている（見た目は変わらなかった）あまり人と接したくないので髪は自分で切っているがめんどくちで伸ばしたままにしている、

主人公設定（後書き）

転生物ではかなり弱い設定になってる気がする（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5773z/>

魔法少女リリカルなのは 神を殺した者

2011年12月22日18時56分発行